

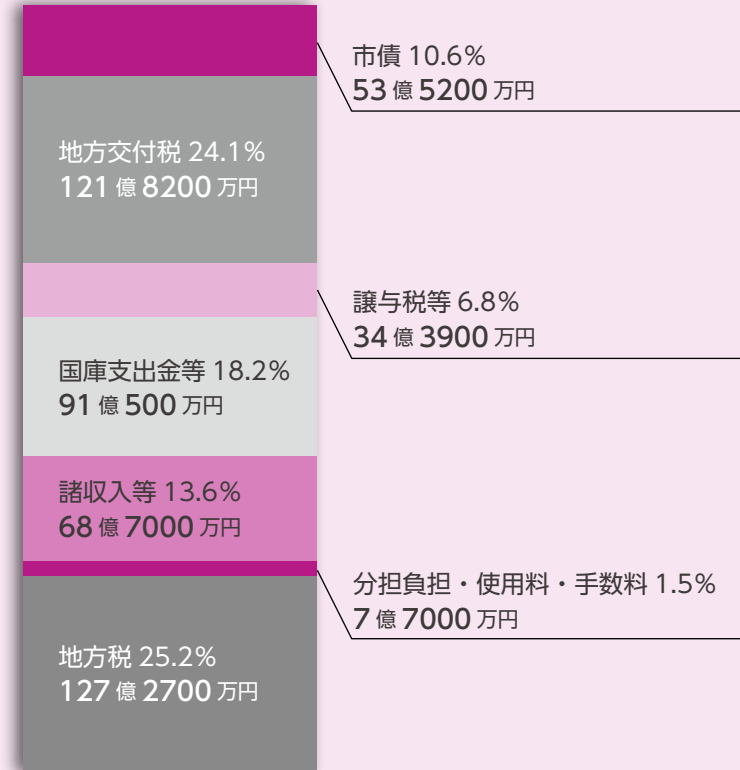
令和5年度決算を公表します

安曇野市の家計簿

令和6年9月定例会で市の一般会計の決算が認定されました。決算概要と財政状況をお知らせします。



一般会計の歳入 504億 4500万円 (前年度比 + 4.8%)



皆 さんは、給料などの収入と食費や光熱水費、ローンなどの支出を計算しながら生活していると思います。市では、1年間にいくらか収入があるか（歳入）、いくらか支払いがあるか（歳出）を見積もり、計画を立てて運営しています。これを「予算」といい、これに基づいてやりくりした結果を「決算」といいます。

令 和5年度の一般会計の決算額は、歳入504億4500万円、歳出492億8700万円となりました。前年度と比較すると歳入で4.8%、歳出で5.7%の増加となりました。歳入から歳出を引いた形式収支は、11億5800万円となり、翌年度に繰り越すべき財源8200万円を除いた

実質収支は、10億7600万円の黒字となりました。

借金は減っている？

市の借金（市債）は、公共事業などの財源として国などから借りるお金です。市債を発行する方法には、多くのメニューがあり、返済金（償還金）の一部を地方交付税で補填（ほてん）してくれるものがあります。また、令和4年度に明科地域が過疎指定されたため、新たに過疎対策事業債の活用ができるようになりました。

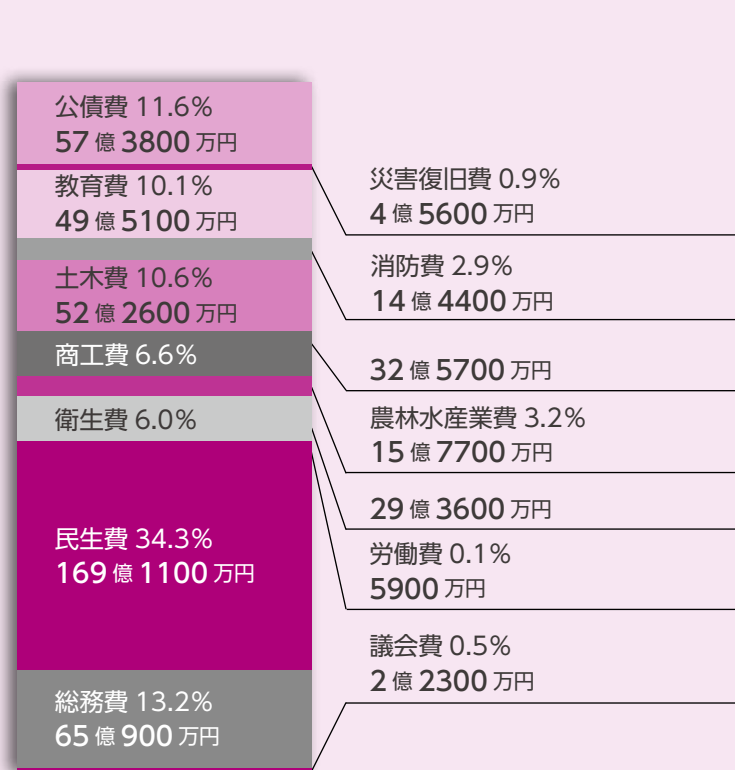
市では、①整備を行うハード事業の厳選②有利な市債メニューの積極的な活用③後年度負担の軽減に重点を置いて、市債を発行しています。こうした取り組みにより令和5年度の市債（こ

れも国が財政の健全化を促す早期健全化基準を下回り、健全な財政運営を維持しています。

貯金はついている？

残高（企業債を含む）は、令和4年度に比べて25億4400万円減少しました（左上グラフ参照）。今後も借入と償還を計画的に行い、年度間の負担均衡を目指します。

一般会計の歳出 492億 8700万円 (前年度比 + 5.7%)



市の貯金を基金といいます。将来的な財源調整に備える財政調整基金、市債の返済金（償還財源）を確保するための減債基金、公共施設整備基金の3基金を柱とした一般会計の令和5年度末基金残高は、200億3100万円となり、令和4年度に対し8億100万円の増となりました（上記表参照）。基金は、設置目的に沿った活用、積立を行い、財政計画に基づき管理していきます。

市の財政は健全なの？

自治体の財政状況の健全度を示す「健全化判断比率」には、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の四つの指標があります。収支が赤字になったときに算定される実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字決算のため、算定されていません。実質公債費比率は、単年度の借金返済額の割合を、将来負担比率は将来負担すべき借金の割合を示すものです。実質公債費比率は8.3%で将来負担比率は、充当可能財源が将来負担額を上回ったため算定されていません。いず

明科地域で過疎対策事業債を活用し事業を行いました。主なものを紹介します。

- 長峰山頂ハングライダーランチャー台の更新
- 明科児童クラブ室（明北・明南小学校）の整備
- 龍門淵公園・あやめ公園整備
- 明科駅前周辺整備事業
- 子どもと大人交流学习施設「ひまわり」空調機器更新
- 安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想策定
- 廃線敷施設維持点検管理事業
- 市道新設改良事業（松糸道路関連）